

平成 20 年 7 月の公社債市場

(1) 流通市場

長期国債

平成 20 年 7 月の 10 年国債の利回り(注 1)は、日経平均株価等の動向を受け、上昇を示す場面が見られたものの、米国の景気後退懸念等から前月に続き低下した。

月前半は、前月中旬から続いていたインフレと景気後退の同時進行による利回りの急落の反動から、前月末より若干上昇して始まったものの、横ばいの推移を示して、7 日には 1.693 %となった(前月末の利回りは 1.590 %)。

その後、米国サブプライム問題の処理を巡る日米株式市場の軟化の影響を受けると、利回りは低下基調へ転じた。米国 13 日には米住宅金融機関の支援策が発表されたものの、市場では欧米金融機関の経営に対する懸念が意識され、15 日には日経平均株価が 13,000 円台を割ると、質への逃避の動きが見られ、利回りは 1.545 %となった。

中旬以降は、16 日に公表された日銀金融経済月報が景気判断を下方修正したものの、米原油先物の急落や米住宅金融機関の支援策が米下院で承認されたこと等が市場で好感されたことに加えて、米空売り規制の影響を受けた買戻しによる米国株式市場の好転を受け、日経平均株価が 13,000 円台に回復し、24 日の利回りは 1.654 %まで上昇した。(22 日には、東証国債先物市場においてシステム障害が生じ、取引が午前 9 時 21 分に中断されたものの、午後 1 時 45 分には再開された。)

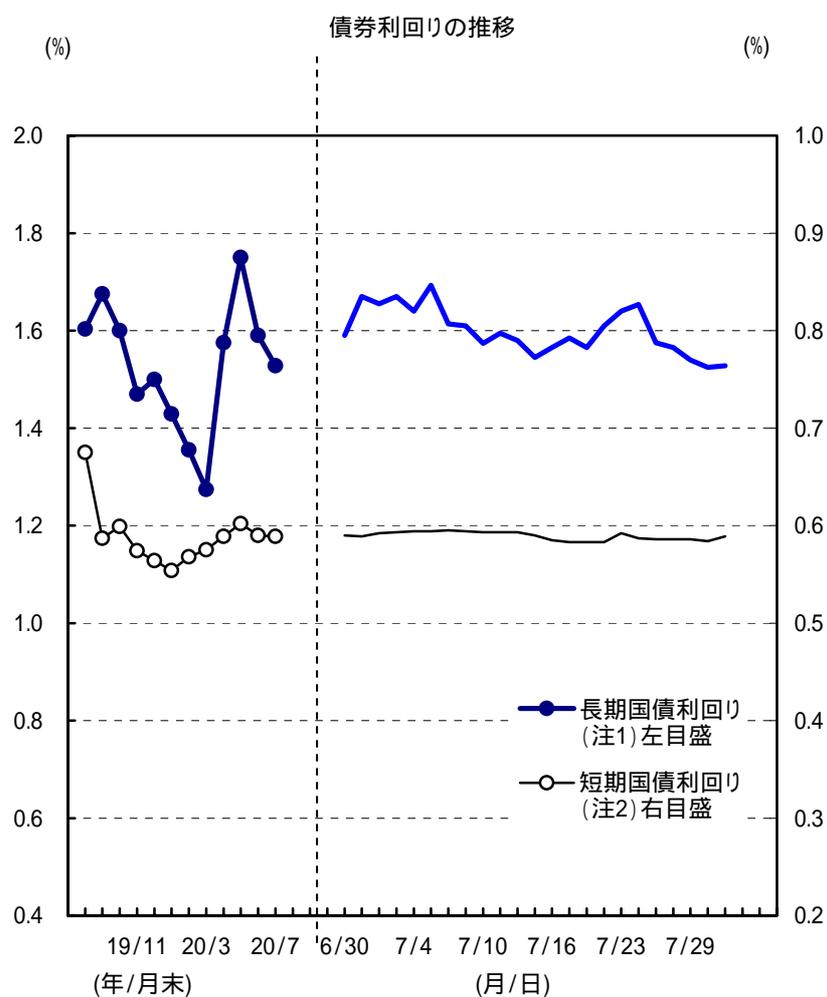
月末に向けては、国内の投資判断材料が少ない中、米国 24 日の 6 月中古住宅販売件数が市場予想を下回ったこと、新規失業保険申請件数が増加したこと等から、米国の景気後退が懸念され、25 日の利回りは 1.575 %まで低下した。更に、米国 25 日には米地方銀行の経営破綻が報道され、29 日には国内 6 月鉱工業生産が悪化したため、利回りの低下は進み、31 日の利回りは前月末比 6.2 bp 減の 1.528 %となった。

(注 1) 長期国債(10 年)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

短期国債等

平成 20 年 7 月の政府短期証券の利回り(注 2)は、16 日の政府短期証券(3 か月)の入札結果が好調であったこと等の影響を受け、利回りが低下した場面も見られたものの、狭いレンジの中で小幅に推移した。月末、31 日の利回りは 0.589 %となり、前月末比 0.1 bp の低下となった。

(注2) 政府短期証券(3か月)直近発行に係るものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。



(注1) 長期国債(10年)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の平均値(単利)。

(注2) 政府短期証券(3か月)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の平均値(単利)。

参考

日付	長期国債		短期国債	
		参考統計値		参考統計値
6月30日	293 回債(発行済)	1.590	526 回債	0.590
7月1日		1.670		0.589
2日		1.655	528 回債	0.592
3日	294 回債(8日発行)	1.670		0.593
4日		1.640		0.594
7日		1.693		0.594
8日		1.614		0.595
9日		1.610	529 回債	0.594
10日		1.574		0.593
11日		1.595		0.593
14日		1.580		0.593
15日		1.545		0.590
16日		1.565	530 回債	0.585
17日		1.585		0.583
18日		1.565		0.583
22日		1.610		0.583
23日		1.640	531 回債	0.592
24日		1.654		0.587
25日		1.575		0.586
28日		1.565		0.586
29日		1.540		0.586
30日		1.525	533 回債	0.584
31日		1.528		0.589

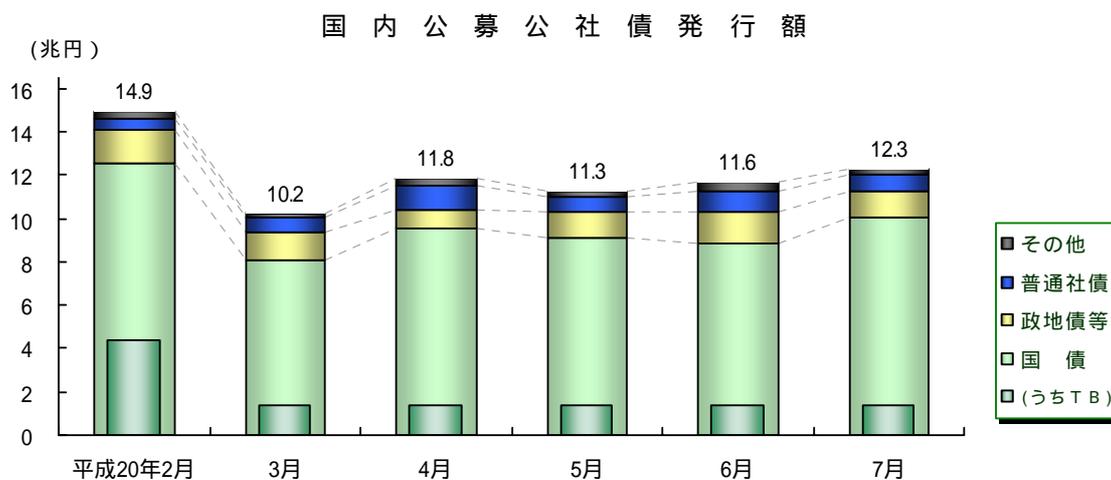
(2) 発行市場

平成20年7月の国内公募公社債発行額は、12兆2,734億円となり、前月11兆6,473億円に比べて6,261億円の増加となった。

「国債」の発行額については、個人向け国債及び30年利付国債が発行されたこと等から、前月比1兆1,704億円増の10兆518億円となった。

「地方債、政府保証債及び財投機関債等」の発行額については、財投機関債の発行額が前月よりも増加したものの、政府保証債の発行額が前月に比べて半減し、2,300億円となり、地方債の発行額も前月よりも減少したことから、合計で前月比1,926億円減の1兆2,235億円となった。

「普通社債」の発行額については、今月は銀行社債の発行月であり、電力債、NTT・JR・JT債の発行額も前月に比べて増加しているものの、一般事業債の発行額が前月に比べて半分に満たない水準となり、2,500億円となったことから、前月比1,670億円減の7,700億円となった。



- (注) 1. 国内で発行された公募債のみを対象として集計(払込日ベース)。
2. 国債は市中消化分。ただし、郵貯窓販分及び個人向け国債を含む。
3. 政地債等は、地方債、政府保証債、財投機関債及び地方公社債の合計。
4. その他は、転換社債型新株予約権付社債(CB)、資産担保型社債及び円建外債の合計。

国債

発行額(億円)	平成20年2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
国債	125,273	80,969	95,222	90,893	88,814	100,518	11,704
(うち 割引短期国債)	(43,975)	(14,000)	(14,000)	(14,000)	(14,000)	(14,000)	(0)
(うち 個人向け国債)	(0)	(0)	(3,540)	(0)	(0)	(9,952)	(9,952)

(注) 億円未満は四捨五入(以下同じ)

地方債、政府保証債及び財投機関債等

発行額(億円)	平成20年2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
地方債	5,787	4,712	3,350	5,076	4,905	4,480	425
(うち 住民参加型)	(257)	(1,050)	(50)	(126)	(305)	(130)	(175)
政府保証債	4,050	3,586	2,300	2,700	5,211	2,300	2,911
財投機関債	5,435	4,619	3,100	4,758	4,045	5,455	1,410
地方公社債	400	0	0	0	0	0	0
計	15,672	12,916	8,750	12,534	14,161	12,235	1,926

普通社債

発行額(億円)	平成20年2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
普通社債	5,520	6,711	11,250	6,630	9,370	7,700	1,670
(うち 個人向け社債)	(100)	(212)	(300)	(100)	(1,000)	(150)	(850)
電力債	1,800	600	3,000	1,100	1,600	1,900	300
一般事業債	3,170	5,011	4,050	3,980	7,690	2,500	5,190
NTT・JR・JT債	450	0	700	1,250	0	500	500
銀行社債	100	1,100	3,500	300	80	2,800	2,720

- (注) 1. 一般事業債には、放送債券及び投資法人債券を含む。
2. 普通社債のうち個人向け社債は、個人向けであることを引受証券会社に確認できたもの。

円建外債、C B及び資産担保型社債

発行額(億円)	平成20年2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
C B	0	0	0	0	0	0	0
資産担保型社債	1,000	30	0	0	0	0	0
円建外債	1,775	1,458	3,178	2,476	4,128	2,281	1,847
計	2,775	1,488	3,178	2,476	4,128	2,281	1,847